

セットの本を使って英語学習イベントを実施しました。

鹿児島県和泊町立内城小学校（沖永良部島）

利用セット「カナダ・アメリカセット 小学校高学年向」

利用時期 平成 24 年 1 月 17 日～3 月 6 日



内城小学校の司書補 市来先生に伺いました。

Q 学校図書館セット貸出しを、申し込まれた理由を教えてください。

A 本校は、遠隔離島にある小規模校で、国際交流の機会があまりありません。本セットを利用することによって、児童が少しでも世界に目を向けるきっかけを作りたいと考えました。

Q 授業の中では、どのように活用されましたか？

A 国際理解教育(英語学習)の時間とタイアップさせ、本町教育委員会の ALT も活用して、全校をあげた英語学習イベントを実施しました。セットの本を十分に活かし、①英語と日本語による絵本の読み聞かせ、②英語の歌やカナダの遊びの体験(注:セットの『たのしくたえる英語のうた』の中の曲を歌ったり、『北アメリカの遊び』で紹介されている「オオカミさん、いま何時?」で遊びました)、③英単語カード(学校独自の教材)を使った陣取りゲームなどを行いました。(次ページ写真)

また図書の時間を活用して、セットを使った読書郵便のハガキ作成やセットの本の自由閲覧をしました。

Q 授業以外では、どのように活用されましたか？

A 学校独自の「読書の日」(毎月 23 日)のイベントとして、国際子ども図書館に関連づけたものを企画しました。まず利用期間当初に、国立国会図書館と国際子ども図書館の特徴や役割を学ぶイベントを開催し、地元の町立図書館の職員もゲストにまねき、公共図書館の仕事を学びました。利用期間終盤では、図書委員によるクイズ大会を実施しました。セットの本から〇×クイズを出題し、参加した児童に喜ばれました(全校対象)。各種イベントについては、事前に全職員に対して開催計画を周知して、ご協力いただきました。



Q 生徒さんたちの反応はいかがでしたか？

A 特に英語学習イベントが好評で、地元紙にも取材していただきました。今後の英語学習や読書活動を進める上で相当なヒントをもたらす取り組みだったと思います。高学年セットだったので、低学年児童には多少難しい内容の本が多かったものの、アメリカ・カナダという親しみやすい国々についての図書だったことから、興味深く読書してくれていました。まだ見ぬ海外、外国への興味関心が引き出されたようでした。

(2012 年 7 月)



学校全体の取組みとして、セットの本を十二分にご活用いただきました。ありがとうございました！

国際子ども図書館担当より

英語学習イベントの様子（市来先生が書かれたレポートより抜粋）

ALTと司書補による追っかけ読み聞かせの様子です。『おじいさんならできる』は繰り返しが多く、子どもにも理解しやすい内容でした。



「オオカミさん、いま何時？」で遊んでいる様子です。とっても楽しい体験でした。



英単語カードを活用して陣取りゲームも行いました。縦割りで対戦し、子どもたちも熱中しました。

